

大学入試の基礎知識と 今から始める受験準備～高2編～

Z会東大進学教室副代表：小梅智子

1. 大学入試の基礎知識

大学入試の仕組みとスケジュール

2. 近年の大学入試

3. これから1年間の学習スケジュール

1. 大学入試の基礎知識

大学入試の仕組みとスケジュール

大学入試の基礎知識

大学入試の選抜方法

一般選抜 ※学力重視	国公立大	<ul style="list-style-type: none">・前期、中期(公立のみ)、後期はそれぞれ1校ずつ受験できる。・通常前期日程の募集人員が最も多いので、ここで第一志望の大学・学部を受験する。・原則、共通試験(大学入学共通テスト)と各大学が課す個別試験(二次試験)の合計得点で合否を判定する。・大学によっては、2段階選抜(共通テストの点数によって、個別学力検査が受験できるかが決まる)を行うことがある。
	私立大	<ul style="list-style-type: none">・大学によって実施形式や日程が大きく異なる。・日程が重複しない限り複数校・日程の併願が可能。
総合型選抜 ※学力以外も評価	<ul style="list-style-type: none">・出願に学校成績や資格・検定といった条件があることが多い。・個別試験は小論文や面接、総合問題など、一般選抜とは異なる出題になっている。・共通試験を課す場合が多い。	
学校推薦型選抜 ※学力以外も評価	<ul style="list-style-type: none">・公募制: 出身高校長の推薦があり、大学の出願要件を満たせば出願可能。・指定校推薦: 大学が指定した高校のみ出願できる。高い評定や部活動などの貢献度が求められることが多い。	

大学入試の基礎知識

選抜方式：一般選抜(国公立大学)

共通テスト出願

9月下旬～10月上旬

共通テスト受験

1月中旬

個別学力検査出願

1月下旬

前期試験

2/25・26

中期試験

3月上旬

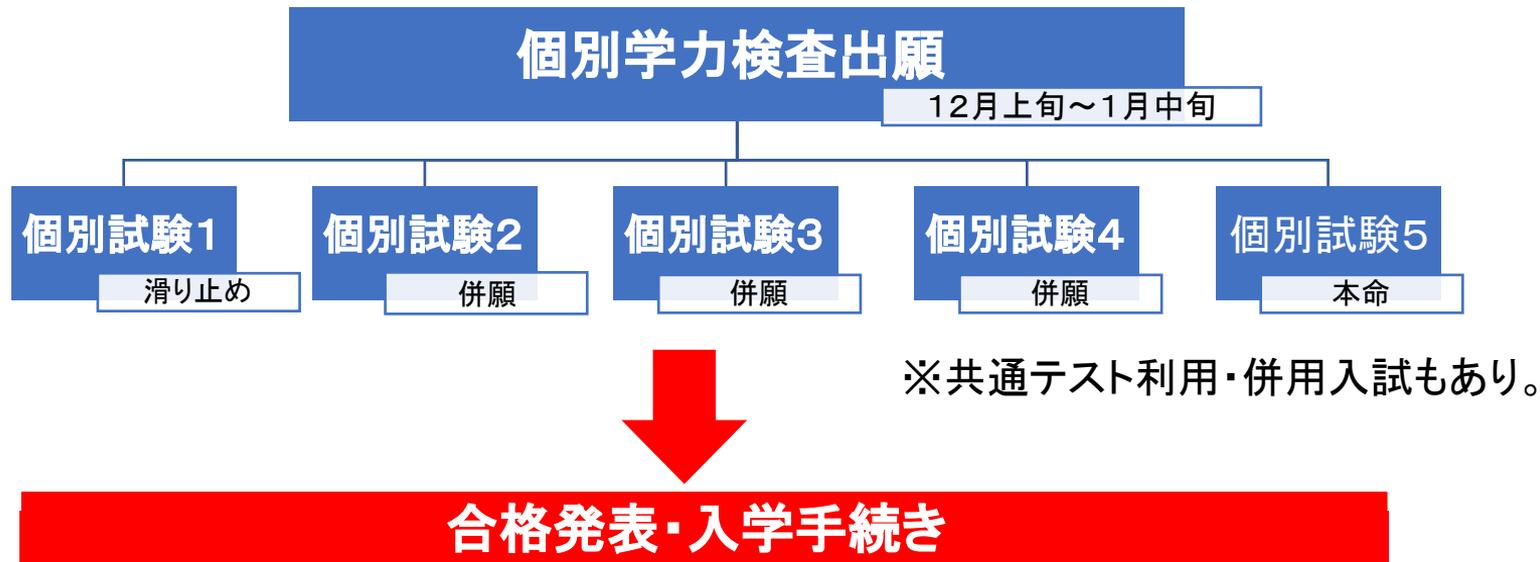
後期試験

3月中旬

合格発表・入学手続き

大学入試の基礎知識

選抜方式：一般選抜(私立大学)



大学入試の基礎知識

選抜方式:一般選抜

○国公立大学



○私立大学



大学入試の基礎知識

大学入学共通テスト

○必要科目

文系: 英語、数学ⅠA、数学ⅡB、国語、理科基礎②、地歴・公民②・情報

理系: 英語、数学ⅠA、数学ⅡB、国語、理科②、地歴・公民①・情報

※英語は、「リーディング」と「リスニング」に分かれる

※私立大専願の場合は、入試科目は要確認

○問題難易度

・設問の難易度自体は、教科書レベルだが、出題の形式が特殊に

・試験時間に比しての問題分量は、英語・数学・国語においては、特に多い

○必要な得点率

・大学によって異なるが、

東大をはじめとする最難関大や医学科は9割以上。難関国公立だと8割以上をめざしたい

大学入試の基礎知識

個別試験

○必要科目

国公立大文系：英語、数学（ⅠA・ⅡB・C）、国語が主流で、地歴は必要な大学・学部が限られる

国公立大理系：英語、数学（ⅠA・ⅡBC・Ⅲ）、理科②が主流で、国語が必要な大学・学部も

私立大文系：英語、国語、地歴が主流で、数学が必要な大学・学部も

私立大理系：英語、数学（ⅠA・ⅡBC・Ⅲ）、理科が主流で、理科が2科目必要な大学も

○問題難易度

- ・設問の難易度自体は、受験大学によって異なる
→偏差値と問題難易度は、必ずしも一致しない
- ・知識はもちろん、思考力を要する出題が多い

○必要な得点率

- ・大学・学部によって、合格に必要な得点率は異なるので、確認が必要
※目安：医学部医学科以外は、国立大学では6割得点できれば、ほぼ合格可能
- ・国公立大学は記述試験となるため、「減点されない」ことが重要

大学入試の基礎知識

大学入試のスケジュール

時期	国公立大学	私立大学
春先～		WEBサイトや冊子により、入試情報を随時発表
7月上旬～	選抜要項の公表	
9月上旬	大学入学共通テスト 受験案内入手（私立大は共通テストの受験が必要な場合）	
9月下旬～	募集要項入手	募集要項入手
10月上旬	大学入学共通テスト 出願（私立大は共通テストの受験が必要な場合）	
11月～	学校推薦型選拔出願開始	
12月～		一般選拔出願開始
1月中旬	大学入学共通テスト 受験（私立大は共通テストの受験が必要な場合）	
1月下旬～	一般選拔出願	各大学の入試開始
2月	前期個別試験(2/25～)	合格発表(→手続き・入学金支払)
3月	前期合格発表(→手続き) 後期試験	

2. 近年の大学入試～新課程対応含めて～

近年の大学入試

2024年度入試の概況

大荒れせず

最上位層は
変動なし

個別試験
勝負

旧学習指導要領最後の年代となるが、それを踏まえた安全傾向の動きは少ない。

学部系統では、文系は【法学部】【文学部】等でやや減少、【経済学部】はやや増加傾向。一時期減少傾向にあった【国際系学部】もやや増加傾向にある。

理系は昨年に引き続き【農・獣医・水産学系】の志願者が増えている。

近年の大学入試

2025年度入試変更：新課程入試1年目！＝現高3生の入試

☆新課程について

○新学習指導要領

旧課程＝『何を教えるか』の重視

新課程＝『何ができるようになるか』を明確化

- ①(生きて働く)知識及び技能
- ②(未知の状況にも対応できる)思考力、判断力、表現力等
- ③(学びを人生や社会に活かそうとする)学びに向かう力、人間性等

⇒新しい時代に必要となる、上記3つの資質・能力の育成

この3つの観点から、教科を構成、指導・評価が行われる＝大学入試で求められること

近年の大学入試

2025年度入試変更：共通テストの変更点

■内容の変更

高等学校教育の成果として身に付けた、大学教育の基礎力となる知識・技能や思考力・判断力・表現力等を問う問題作成

平成 21 年告示高等学校学習指導要領（以下『高等学校学習指導要領』という。）において育成することを目指す資質・能力を踏まえ、知識の理解の質を問う問題や、思考力・判断力・表現力等を発揮して解くことが求められる問題を重視する。また、問題作成のねらいとして問いたい力が、高等学校教育の指導のねらいとする力や大学教育の入口段階で共通に求められる力を踏まえたものとなるよう、出題教科・科目において問いたい思考力・判断力・表現力等を明確にした上で問題を作成する。

『どのように学ぶか』を踏まえた問題の場面設定

高等学校における『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善のメッセージ性も考慮し、授業において生徒が学習する場面や、社会生活や日常生活の中から課題を発見し解決方法を構想する場面、資料やデータ等を基に考察する場面など、学習の過程を意識した問題の場面設定を重視する。

近年の大学入試

2025年度入試変更：共通テストの変更点

■科目の変更

	2024年1月実施まで		2025年1月実施以降	
教科	科目	試験時間	科目	試験時間
国語	『国語』	80分	『国語』	90分
数学	『数学Ⅰ』『数学Ⅰ・A』	70分	『数学Ⅰ』『数学Ⅰ・A』	70分
	『数学Ⅱ』『数学Ⅱ・B』 『簿記・会計』『情報関係基礎』	60分	『数学Ⅱ・B・C』	70分
外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』 ※『英語』はリスニングも実施	80分 リスニング60分	『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』 ※英語については、ICプレイヤーを使用する試験を実施	80分 ICプレイヤーを使用する試験60分
情報	なし	なし	『情報Ⅰ』	60分

近年の大学入試

2025年度入試変更：共通テストの変更点

■科目の変更

	2024年1月実施まで		2025年1月実施以降	
教科	科目	試験時間	科目	試験時間
地歴 公民	『世界史A』『世界史B』 『日本史A』『日本史B』 『地理A』『地理B』	1科目選択60分 2科目選択130分	『 地理総合、地理探究 』、『 歴史総合、日本史探究 』、『 歴史総合、世界史探究 』、『 地理総合、歴史総合、公共 』	1科目選択60分 2科目選択130分
	『現代社会』『倫理』『政治・経済』『倫理、政治・経済』		『 公共、倫理 』『 公共、政治・経済 』	
理科	『物理基礎』『化学基礎』 『生物基礎』『地学基礎』	2科目60分	『物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎』	2科目60分
	『物理』『化学』『生物』『地学』	1科目選択60分 2科目選択130分	『物理』『化学』『生物』『地学』	1科目選択60分 2科目選択130分

近年の大学入試

2025年度入試変更：共通テストの変更点

■出題構成の変更：国語

旧課程			新課程		
試験時間	出題構成	配点	試験時間	出題構成	配点
80分	第1問：近代以降の文章（評論文）	50点	90分	第1問：近代以降の文章（評論文）	45点
	第2問：近代以降の文章（文芸作品）	50点		第2問：近代以降の文章（文芸作品）	45点
	第3問：古文	50点		第3問：近代以降の文章（新傾向問題）	20点
	第4問：漢文	50点		第4問：古文	45点
				第5問：漢文	45点

近年の大学入試

2025年度入試変更：共通テストの変更点

■出題構成の変更：数学

旧課程			新課程			
科目	試験時間	配点	科目	試験時間	出題内容	配点
数学Ⅰ・A	70分	100点	数学Ⅰ・A	70分	Ⅰ・Aの範囲	100点
数学Ⅱ・B	60分	100点	数学Ⅱ・B・C	70分	数学B・Cについては、「数学B」の2項目の内容(数列、統計的な推測)及び「数学C」の2項目の内容(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)に対応した出題とし、このうち3項目の内容の問題を選択解答	100点

近年の大学入試

2025年度入試変更：共通テストの変更点

■まとめ

- 2025年度以降の共通テストは、新学習指導要領を踏まえたテスト
⇒施行問題の内容に近づいていく可能性が高い
⇒2024年度までの共通テストと内容が変わる可能性も

■数学、地歴公民、情報は注意が必要

- ・数学：「数学Ⅱ・数B・数C」が課される場合、文系でも数Cの学習が必要になる
- ・地歴公民：選択科目をどうするか
『地総、地探』『歴総、日探』『歴総、世探』『公、倫』『公、政・経』からの
選択になる大学が多い見込み
- ・情報：国立大学協会が、「情報」を加えた「6教科8科目」を課すことを国立大学入試の原則とする
基本方針を示し、国立大受験者は共通テストで「情報」が課されることに
＝負担増

近年の大学入試

2025年度入試変更:個別試験の変更点

☆主要大科目構成

	東大	一橋大	北大	筑波大
国語	現代の国語・言語文化 論理国語・文学国語 国語表現・古典探究	現代の国語・言語文化	現代の国語・言語文化 論理国語・文学国語	論理国語・文学国語 古典探究
数学 (理系)	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A 数B(数列、統計的な推測) 数C(ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面)	数Ⅰ・数Ⅱ・数A(全範囲) 数学B(数列) 数C(ベクトル)	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A(図形の性質、 場合の数と確率)・数B(数列) 数C(ベクトル、平面上の曲線と複素 数平面)	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数 B・数C
数学 (文系)	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B(数 列、統計的な推測) 数C(ベクトル)	※英語でリスニングを廃止	数Ⅰ・数Ⅱ・数A(図形の性質、場合 の数と確率) 数B(数列)・数C(ベクトル)	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B 数C
地歴	日本史探究・世界史探究 地理探究	「地総、地探」・「歴総、日探」・ 「歴総、世探」	「地総、地探」・「歴総、日探」・「歴総、 世探」	日本史探究・世界史探究 地理探究

近年の大学入試

2025年度入試変更:個別試験の変更点

☆主要大科目構成

慶應:文	慶應:経済	慶應:法	慶應:商
英語(独自試験):英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ 英語(外部試験利用):実用英語技能検定(英検)CSE総合スコアが2500以上→得点換算	英語:コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ 数学:数Ⅰ, 数Ⅱ, 数A, 数B(数列), 数C(ベクトル)	英語:英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ	英語:英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ 数学:数Ⅰ, 数Ⅱ, 数A, 数B(数列), 数C(ベクトル)
地歴 以下のいずれか 「世界史」:歴史総合, 世界史探究 「日本史」:歴史総合, 日本史探究	地歴 以下のいずれか 「世界史」:歴史総合, 世界史探究 「日本史」:歴史総合, 日本史探究 いずれも, 出題範囲は1500年以降を中心	地歴 以下のいずれか 「世界史」:歴史総合, 世界史探究 「日本史」:歴史総合, 日本史探究	地歴 以下のいずれか 「世界史」:世界史探究 「日本史」:日本史探究 「地理」:地理探究

近年の大学入試

2025年度入試変更：個別試験の変更点

- ・入試科目詳細・入試制度変更点について
:各大学の入試要項が出されている状態

- ・試験内容について
:共通テスト→新課程を踏まえたものになる

国公立大入試→出題内容自体がどうなるのかは不明

※もともと記述式・論述式の試験であるため、急激な変化はなさそう

私立大学入試→出題内容自体がどうなるのかは不明

※英語資格試験の活用、総合問題、面接の活用は増える可能性あり

→新課程1年目の状況をしっかりと把握しておくことが必要

近年の大学入試

2025年度入試:まとめ

■新課程での入試、2年目とは？

- ・1年目の様子が分かった状態で入試を迎えられる
 メリットでもあり、デメリットでもある
- ・2年目の難度調整(1年目は様子見、2年目で本格的に・・・)

- ・旧課程時代と比べて、負担は増える
 ↳科目面(情報)、内容面(思考力の重視)

⇒早めに志望大学・学部を決めて、
・必要な情報を入手すること
・変化に向けて、基礎学力をつけておくこと
が重要です

3. これから1年間の学習スケジュール

大学入試にむけての準備

大学入試の準備の手順:高 2

①志望大学の検討・確定

今年度の入試終了時点で、入試問題を確認しておく

→個別試験は確認(解けなくてもよい)

→共通テストは、実際に解いてみる

問題難易度・傾向を把握して、1年後に解くことができるよう、学習計画を立てる

※志望大が決まっていない人は、高3の春までには決定する

②英数国の基礎力完成

高2までの学習範囲について、抜け漏れがないか

英単語・英文法、古文単語・古典文法はどこまで身につけているか

数学で苦手単元が残っていないか

③理科地歴にも着手

共通テスト1年前となる1月くらいからは学習に着手できるように

大学入試にむけての準備

補足：入試要項で確認しておくべきこと

○必要科目・配点・得点率

- ・入試に必要な科目と各科目の配点を見れば、その大学・学部が重視している科目がわかる。

例：東大理一の配点は、英語120点、数学120点、理科120点、国語80点、
京大工学部の配点は、英語200点、数学250点、理科250点、国語100点のため、
東大は科目のバランス力を、京大理は理数系の力を、より求めていることがわかる。

- ・国公立大志望の場合は、共通テストと個別試験の配点比率も確認。

例：東大(全学類)の配点比率は、共通テスト：個別試験＝110：440(＝1：4)、
東京農工大工学部の配点比率は、共通テスト：個別試験＝900：550(＝18：11)のため、
東大は個別試験の得点を、農工大は共通テストの得点を、より重視していることがわかる。

※注意

共通テストの配点比率の低い大学においても、第一段階選抜が行われることがある。
そのため、共通テストは低得点でよい訳ではないことに注意。

第一段階選抜：志願倍率や共通テストの得点に基準を設け、そこに達しない生徒は
共通テスト受験の得点のみで不合格とする選抜
＝個別試験を受験できない

大学入試にむけての準備

大学入試の準備の手順:高 3

①1学期

英数国:応用力の強化。徐々に入試傾向を踏まえた演習に取り組めるように
苦手範囲は出来るだけつぶしておく

理科地歴:カリキュラム学習中の場合は、いつまでにカリキュラム学習を終えるか
インプット→アウトプットを繰り返すこと

②夏休み

模試の目標点を目安として、

- ・苦手教科科目・分野・出題形式の克服
- ・既習範囲の入試レベルの問題演習
- ・共通テストのみ科目の対策

を進める。未習分野は夏休み中に必ずなくす！

英数国は過去問に着手

大学入試にむけての準備

大学入試の準備の手順:高 3

③2学期以降

模試の目標点を目安として、全教科、入試本番レベルの問題演習を中心とした対策に注力。 (＝過去問演習)

→「遅くとも秋以降」なので、早められる教科は前倒しで進めたほうがよい。

→過去問は、何度解いてもよい。直前期までとっておく必要はない

英数国と理科地歴の学習バランスを大切に

→1つの科目に集中しすぎないように

入試での目標点、不足している学習などを踏まえて、各科目にかける時間を考えること

④12月～

12月: 共通テストと個別試験の対策のバランスをとること

共通テスト後: 志望大の過去問演習中心

共通テスト後に新しいことを入れている暇はない

大学入試にむけての準備

模試の活用:高3

①偏差値とは？

その模試の母集団の中での相対的位置

②成績判定とは？

該当大学の受験科目・配点にそろえて、上から一定のラインを設けて切ったもの
本番に近い母集団、本番に近い問題傾向が揃っていないと、
成績判定はあまり参考にならない

③模試を受ける意義は？

「力をつけるもの」ではなく「力を試すもの」

→必ず受験前に目標点を設定しよう！

目的は「合格可能性を測ること」ではなく、

「自分の現状を把握すること」

→判定に一喜一憂するのではなく、不足した穴を明らかにする

大学入試にむけての準備

学習計画を立てよう:高 3

- ①目標の設定
- ②目標達成のための計画
- ③日々の計画の進捗確認
- ④結果を分析し、次の計画へ反映

大学入試にむけての準備

大学入試の準備(保護者の方の行うべきこと)

①お子様の志望校の確認

- ・併願を含めた、お子様の希望の確認
- ・学部を含めた、志望校で取得できる学位・資格と、希望の進路が一致しているか
- ・無理のない受験になっているか

②志望大学の立地・学費の確認

- ・お子様の志望校が、自宅から通学可能か、下宿が必要かを確認
- ・大学周辺の環境は、可能であれば直接確認
- ・学費(入学金を含めた初年度の合計額)の確認
- ・受験料の確認

③生活態度の確認

- ・お子様は規則正しい生活をしているか
- ・勉強の障害となっていることはないか

最後に

ご視聴いただき、ありがとうございました。

入試に向けて不安なことがございましたら、
ぜひZ会東大進学教室／Z会進学教室大学受験部に、
ご相談ください。